

津田塾大学英語英文学科主催
2021年度翻訳通訳プログラム
公開オンライン講演会
津田梅子記念交流館共催・言語文化研究所協力

日本語と英語のサブカルチャー — 翻訳は、原文よりよくないとダメだ！ —

講師：ロジャー・パルバーズ氏



2021年11月9日火曜日
16時20分～17時50分
5限「コロナ禍に立ち向かう世界b」
オンライン開催（Zoom使用）

『ハーフ』（2014）ロジャー・パルバーズ（著）
野坂実生（写真）上杉隼人（翻訳）書肆パンセ（出版）

講師プロフィール

ロジャー・パルバーズ氏（ROGER PULVERS）は、アメリカ合衆国出身のオーストラリアの作家、翻訳家、劇作家、演出家、映画監督。東京工業大学名誉教授。ニューヨークでユダヤ人の家庭に生まれる。カリフォルニア大学ロサンゼルス校を卒業後、ハーバード大学大学院に入学。1967年に初来日。京都に居を定め、京都産業大学でロシア語やポーランド語の講師を務めた。1972年にキャンベラのオーストラリア国立大学に赴任し、日本語や日本文学を講義。1983年製作の映画『戦場のメリークリスマス』で大島渚の助監督を務めた後、再び来日し、演劇活動を行う。1992年製作の映画『SEEING RED（原題：日本未公開）』において脚本を執筆（監督：バージニア・ラウス）。2007年製作の映画『明日への遺言』において、監督・小泉堯史と共同で脚本を執筆。2008年、第18回宮沢賢治賞を受賞。2013年まで、東京工業大学教授、世界文明センター長。同年、「雨ニモマケズ」の翻訳で第19回野間文芸翻訳賞受賞。同年製作のドキュメンタリー映画『僕がジョンと呼ばれるまで』において、構成を担当（監督・太田茂、風間直美）。2015年、第9回井上靖賞を受賞。2017年製作の映画『STAR SAND 一星砂物語』で初監督を務める。原作は自身の執筆による小説『星砂物語』。2018年、旭日中綬章受章。2019年、オーストラリア勲章受章。

お申し込みはこちらから
（定員300名）



<https://forms.gle/mN77TxXCnCtHjbhvZ>

【申込期限：2021年11月5日】

申込受付後、参加者へZoomのURLをお送りします。